

松戸市シルバー人材センター

はつらつ松戸

「自主・自立、共働・共助」 第74号

会員数

男性 1,568人

女性 521人

2,089人

令和5年12月末現在

編集・発行

公益社団法人
松戸市シルバー人材センター
〒271-0043
松戸市旭町1-174
TEL 047(330)5005
FAX 047(330)5008

松戸市シルバー人材センター
ホームページ
<https://webc.sjc.ne.jp/matsudo/>
E-mail matsudo1@sjc.ne.jp

発行 令和6年2月1日

謹賀新年



【趣味の世界】 鏡餅マスコット 作者 木内寿子（6班）

新玉の年に



理事長

石井久雄

皆様 明けましておめでとう
ございます。お健やかに新年を
お迎えのこととお慶び申し上げ
ます。

旧年中は当シルバー人材セン
ターの事業運営にあたり、格段
のご理解ご協力を賜り誠にあり
がとうございました。

今年（甲辰（きのえたつ））の年、
甲は十千の第一で物事の始まり
や成長の意味もあるとのこと。
当センターも甲辰に因み、設立
三十一年目の本年を、「2024
未来への変革」を旗印に業務
一新の年とするため、会員職員
の皆様の力強い一致協力のもと
より、引き続き松戸市様のご懇
篤なご支援を仰ぎつつ、鋭意推
進してまいりたいと決意致して
おります。

末筆ながら皆様のご健勝を心
よりお祈り申し上げ、年初のご
挨拶といたします。

特集 シルバーへ 学生さんが やってきた!

令和5年さいごを飾る11月、若々しい顔ぶれが旭町のシルバー人材センターを訪れた。千葉大学の学生さんたちである。折しも当センターは創立30周年で組織改革を進行中。結果はその流れにふさわしい特集イベントとなった。

第1弾 世代間交流座談会

まず学生側が仕掛けた。世代間交流目的の座談会である。今回の千葉大メンバーは、かねてから高齢化社会への取り組みを研究しているグループで、現在の課題である世代間の対立を相互交流によって其感に変え、若者と高齢者に共通する孤独感の解消につなげられないかとのじつに若々しく挑戦的な訪問だった。

●石井理事長の話を聞いて
誠実であること、ぶれないこと、コミュニケーションをとること。基本的なことだが経験に裏付けられた重みのある考え。
(阿部尊)

子どもも高齢者も関係なく、人は褒められたら嬉しい。
(矢島英雄)

誠実にぶれずに最後までやり遂げることを忘れずに仕事に取り組みたい。(始関友海)

誠実さ、教員を目指しているが、一生通ずる考え方だと思った。
(鳥羽翔太)

周囲の人と協力しながら柔軟に対応する関係の作り方。
(田中優平)

松戸市の将来についてとても真剣に考えていること。外に出なくても、交通手段がない方に向けての「グリーンズローモビリティ」はぜひ、私が住んでいる市でも実施してほしい。(鈴木朝陽)



田中 優平 君
教育学部中学校コース社会科
●今後やりたいこと●
将来は学校の先生になりたい。大学の講義を通じて、授業づくりや学校経営等、自分が生徒の時には見えていなかった面で先生という仕事の魅力を見つけることができ、先生になりたいという気持ちの方がより強まっている。



阿部 尊(みこと) 君
教育学部中学校コース数学科
●今後やりたいこと●
高校の数学の先生生徒たちが自分たちの力で何かを成し遂げたり、キラキラと輝いている姿をずっと見ていきたい。また、生徒が最大限に輝けるように支援したい。数学に関しては、とくに変化について指導したい。比例や関数などのどこが変化してどこが変化するのが大切さを体感してほしい。定年を迎えたらクラブ屋を開きたい。キッチンカーで日本一周とかできたらいいな。全国の子供たちの元気な姿を見ていたいな。

●山本博之さんの話を聞いて
相手に理解してもらうために実例を使ってやってみせるという伝え方の大切さ。
(矢島英雄)

シルバー人材センターはSDGsの一環でもあるということ。
(阿部尊)

助けを求めると働くことができる人の互いの生活が豊かになる、シルバー人材センターって素晴らしい活動だな。
(始関友海)

様々な資格を取得しようとする「リスクリング(学び直し)」への積極的な姿勢は私も見習いたい。(鳥羽翔太)

パワーポイントを効果的に使って説明してください、時代に応じた働き方をされていて凄い!(田中優平)

アニメーション・図の引用は学生の自分でも苦戦する。わかりやすいスライドを作成されていて感動!50歳を超えて



始関 友海 さん
法政経学部
●今後やりたいこと●
地方公務員として働きたい。大学では法律や経済学だけでなく、英語の勉強に力を入れ、将来の仕事の幅を広げたい。

●三井勝次さんの話を聞いて
働くことが健康維持につながるという話。シルバー人材センターのような場所が必要だと感じた。(矢島英雄)

今頑張っておくことで将来役に立つと聞き、大学生活でもっと勉強を頑張ろうと思った。
(阿部尊)

「健康なうちに働く」ではなく「生涯働くことで健康を維持したい」。(始関友海)



田中 優平 君
教育学部中学校コース社会科
●今後やりたいこと●
将来は学校の先生になりたい。大学の講義を通じて、授業づくりや学校経営等、自分が生徒の時には見えていなかった面で先生という仕事の魅力を見つけることができ、先生になりたいという気持ちの方がより強まっている。



鈴木 朝陽 君
キャリアデザイン学部
●今後やりたいこと●
日本の観光地の魅力を国内外に発信、紹介するような仕事。

り食べていると長生きできない。(阿部尊)

人脈を広げておくことが大切。コンビニやファストフードなどつい食べてしまいがちだが、気にかけるようにしよう。いざというときに頼れる人間関係を形成したい。(鳥羽翔太)

たくさん勉強しながら仕事をしていたことが印象的だった。(田中優平)

言葉や話し方に経験が表れていて、お話を聞くことがとても楽しかった。(鈴木朝陽)

約束は必ず守る、人のせいにしてない、相手の立場になって考える、というこの大切さ。
(矢島英雄)

●佐藤恵子さんの話を聞いて
さまざまなお話に踏み込んでいくことの大切さ。
(矢島英雄)

食品添加物の多い食べ物ばかり



鳥羽 翔太 君
教育学部中学校コース社会科
●今後やりたいこと●
専攻分野以外で海外での実践的インターンシップや国際交流を通してより多様な観点から社会を見ます。また将来的には、それらの経験を自分が教員になった時に活かしていきたいです。

●鈴木茂樹さんの話を聞いて
約束は必ず守る、人のせいにしてない、相手の立場になって考える、というこの大切さ。
(矢島英雄)

失敗が起こる



女性部会主催 ちいきのつどい

の仕組みが悪かったから。だから人を強く責めないというところ。(阿部尊)

失敗は宝物。失敗を恐れずに様々なことに挑戦したい。(始関友海)

考える力や生きる力、事実を見る目を養うということ。自分が教員として仕事していく中で、生涯通じて基礎としていきたい。(鳥羽翔太)

人同士の信頼の上で仕事をしていることを再認識。(田中優平)

海外での仕事文化の話はとても興味深かった。(鈴木朝陽)

(文責/井上(副))

さて第2弾を仕掛けたのはシルバー側。11月28日、女性部会主催の「ちいきのつどい」に、千葉大学生3名の参加が実現した。「ちいきのつどい」は3月総台での初開催が好評を博したので、2回目は松戸市民劇場に場所を移し規模を拡大しての開催となった。新しい試みとしての学生の参加は、佐藤恵子女性部会長との偶然の機縁がもたらしたものの、この3人は千葉大環境ISO学



左から
鈴木木の香さん、鳥羽翔大君、根本大雅君



石井理事長も：なんか今日は皆さん声で弾んでるなあ。新人の上田ひとみさんはよほさんの練習をしたせいか、シルバードVDの上映の案内、福祉有償ラビットシャツやフードバンクの説などよどみなした。
いよいよ
フレイル予防講座が始まる。担当は市から3人、保健師

成果 参加者180名

参加者は目標300名には遠かったが、180名は前回の約2.5倍で立派な数字。一般市民が会員の3倍に達し、アンケートでは「また参加したい」が圧倒的に多く、次回へ大きな励みとなった。参加者の声を一部ご紹介しよう。

- 良い集い、また引き続きお願います。
- フレイル予防をさっそく実施したい。
- 口腔体操や声出しなどやってみます。
- 音楽に合わせてフレイル予防の体操がよかった(ほかに、フレイル予防の説明がよかったなどフレイル予防講座への高評価が多かった。)
- 思ったより内容が良かった。司会の佐藤さんがとても良かった。
- 外に出るだけで元気になる。いいお話いい体操ができて楽しかった。
- シルバード人材センターを知らなかった。女性部会、ちいきのつどいも今回参加して初めて知った。
- たいへんよかった。また来たい。

ポットも、部会の総力を挙げて準備万端、あとはお客参集を祈るのみ：

こうして迎えた当日はきもちのよい秋晴れ。12時の開場と同時に市民、会員が詰めかけ座席が埋まる。何が始まるかと期待に胸が膨らむころ、司会者佐藤部会長の澄んだ声が会場にひびいてつどいの幕が開く。祝辞は松本福祉長寿部長が市長代理で登壇し、まず大看板を褒め上げる。石井理事長も：なんか今日は皆さん声で弾んでるなあ。新人の上田ひとみさんはよほさんの練習をしたせいか、シルバードVDの上映の案内、福祉有償ラビットシャツやフードバンクの説などよどみなした。

の伊藤ひとみさん、歯科衛生士の田幡久美子さん、作業療法士の吉田央子さん、そして千葉大の3人は鈴木木の香さん、鳥羽翔大君、根本大雅君の合計6名。フレイルとは要介護、つまり寝たきりになる直前の状態を指す。そうならない予防として「軽い筋肉運動」「偏りのない栄養」「気軽な社会参加」の大切さ呼びかけるのが6人の役割。大きなパワーポイント映像をバックに市の本職3人の巧みな解説と、若々しい学生の清新な解説が見事にコラボして、フレイル予防講座は大成功。壇上の巧みな誘導に会場は手足を振り回し、口を動かしての大賑わいとなった。後半はじゃんけんゲームに続いてお待ちかねのミニコンサート。人声に代わって音楽が会場に満ち溢れる。まずおなじみの歌手新野照美さんと坂元龍一郎さんの歌声が客席を魅了。佐々木正さんの軽妙な紹介に促されて、カラオケ自慢の会員8名が日ごろ鍛えた喉を披露する。女性部会メンバーも負けずと登壇して「青い山脈」を全員熱唱。最後は千葉大生3人も登壇して、谷村新司の「サライ」を全員合唱。2時間余りのイベントは盛会のうちに幕を閉じた。

ベリーベリーグッド！

○千葉大の学生さん、いいですね！
／このようなところで頑張ってくれることに感謝／若い人の協力がとても分かりやすかった。(客席はよく見ている！)

○前向きな人生にしたい。会員になりたい／毎日少しの努力で人生100年時代を頑張りたい／高齢社会に適した公演で内容も充実、素晴らしい行事でした。

ほんの一部だが、好評だったことがわかる。感想の一つに「皆で歌う時間がもう少し欲しい」とあった。筆者も同感である。フレイル予防を軸にした居場所作り、シルバードが今後考えてもいいテーマかもしれない。

(取材/山崎(通))

【働くよいび】
座談会編 2

前回座談会が望外の好評だったので2回目をお送りする。

令和5年10月から働く仲間に加わった新職員4氏を歓迎しつつ根掘り葉掘りする魂胆だが、今回は司会側の素性も曝しておくのがルールだろうと冒頭、井上有希さんをサブライズ指名すると皆さん「知りたい知りたい」とわくわく顔。えーつと驚きつつ、「旧姓は斉藤有希、甲子園で活躍したハンカチ王子と同名で活躍したバドミントン部ではハンカチ姫と呼ばれてました」と意外に快調な滑り出し。生まれは福岡の春日市。結婚するまで福岡を出たことがなく、東京デイズニードランドもこつちに來てから初めて行ったと告白。真正正銘の箱入り娘だ。

無理！そんな時間ない！コインフレク、おにぎり、バナナ・・・栄養士の端くれにもならない。教師生活3年で結婚して上京。松戸に住んで子供が出来てとなるのだが、近隣ママと仲良くなっているに保育園に応募した。二人とも働く予定でなく、自由な時間が欲しかったというやや不純な動機。ところが自分の方だけ決まっちゃった。急ぎよハローワークに行き、週4程度の臨時職員のつもりが、予期せずシルバードの正規職員でフルタイムの方で決まったのは皮肉だ。「元々やりだしたらやっちゃう性格。意外とここの生活が楽しかった」持ち前の負けず嫌いで乗り越えてきた。熱が入ったお喋りに、みんな「楽しかったア！」

場は柏でもお馴染みだ。皆さん良い方で楽しい。健康面もよくなった。転職人生の終着駅にしたいと思う。

「子供の頃から食べることで料理することが好きで、地元大学へ進み管理栄養士と栄養教諭を取り小学校で勤務した。」
実際は学友たちからあんたは子供にいじられるタイプだから中学校教師はやめときって忠告されたらしい。小学校では反省がある。全校朝会で朝ごはんの大きさを子供たちにとくとくと喋ったこと。「朝ごはんは味噌汁とご飯と野菜も大事ですよ。パンには牛乳やサラダもつけて」と言っていたけど、子供ができて実際にワーキングママになると、

「就職する段になって、やっぱり親は帰ってこい。あの時代って本当に就職がなくて、百社ぐらいエントリーしたけど全然ダメ。結局新宿にある小さな商社、半導体とかを扱う商社の営業アシスタントとして働くことになりました」
住まいも都会寄りの下北沢に昇格。仕事は楽しかったが、夫と出会って2年で結婚。江戸川区の平井に住んだ。子供が幼稚園に上がるタイミングで、夫の親の勧めで松戸に家を建てた。「ずっと専業主婦で行くつもり

でした。子供が中学受験までは全力で向き合おうって決めて。中学に入った瞬間にカオス症候群みたいになってしまい、私何物もやるのがない。習い事は何も足りず、家の近所で4年間働いた。息子は高校3年生になった。「あと1年で終わりだなんて考えた時、もうちよつといるんなことチャレンジしてみるのもいいかな」とちよつとハローワークに行ったら、1社目がシルバークだった。「ドキドキと待ってる」とびびり顔で井上さんがやってくる。井上さんが入社を決めさせた井上さんといきりの笑顔でどんなだろ？

司会「次、武井めぐみさんは民間の担当ですね。」
武井「はい、生まれは八王子ですけど、人生の中で多く過ごしてるのは柏です。父親が転勤族だったので、いろんなところに行ったり、どの場所でも平和に過ごしました。」武井さんはご自分のめぐみという名前に格別の感慨がある。「母親が人に恵まれるようにとつけてくれたんですね。振り返っても悲しかったり、助けが欲しい時には必ず助けてくださる方と巡り合えるんですよ。本当に人生ずっとそれで生きていて……」とその時の

エピソードを話した。

武井「短大新卒で入った会社で、当時もう60歳過ぎた方だったけど、すごく人生のこと教えてくださった方がいました。私の結婚を機に色々な連絡を取り合わなくなってしまっていた。今回シルバークに入り、ハガキの集計をしてる時にそのお名前がふと目止まって、その方がシルバークの会員さんで……」
（一同、ええーとと驚嘆）「そこから、またお付き合いが始まりまして。本当に人生なだんただんって最



左から鈴木茂樹さん、武井めぐみさん、司会、山崎、島山淳子さん、平野尚さん
撮影 井上有希

近思います。」

（「もつと助けたくなっちゃう」の声）
専業主婦、育児それはそれで大変だけど、社会との関わりが一切ないという不安に駆られた。何も生み出さず、消費するだけの存在。「外でお茶一杯飲むにしてもこれは私が働いて得たお金じゃないなんて……」誰か「人間としての自信がなくなる」「そうそう、ぼつかり穴が開いちゃった感じで」「女性ならではのかな。男性はずっと社会に出てくるから」
武井「子供のことも家のことも完璧にこなさなければなんて思ってしまったけど、ほんとに困った時に同じ場所、同じ目線で相談できる人って、やっぱり主人しかいないんですよ。単身赴任の機会がなければわからなかったことです。」
井上「そう思えるのがすごい。多分そういう考え、根本にあるからみんなが助けようって思うんですよ。」

とで、何かチャレンジしようかなど」

37年間で事務系一筋、経理から入って営業事務、総務、人事と網羅した。一度名古屋に転勤、言語文化の違いアメリカ勤務を3年、そんな経歴が事務系に強い人間を作り上げたらしい。2度目も事務系から逃げきれずある会社の本社部門で人事制度とか就業規則とか給与システムなんか新しくする仕事を3年弱やった。

「だんだん年も取ってきて満員電車の通勤がね。コロナの時に入ったので、最初は電車がガラガラで良かったけど、2年経ったら混み出して朝はぎゅうぎゅう帰りがぎゅうぎゅう。もう疲れちゃった」
今はバイクで12分。ここ終わってすぐ家に着きます。理想の職場というところらしい。担当も経理だ。
皆さん入って間がないが、仕事で何か感じたことを訊ねてみた。武井さんは利益追求の民間企業との違いをやや戸惑い気味。自分の立ち位置を模索しているという。平野さんも同じだが、サービスの内容や質に注目。いかに健康で楽しく仕事してもらえぬ場を作れるかを主眼にした

という。

島山さんは皆さんの目がキラキラしてる。引退して、ここからでも仕事ができるっていうのは人を生き生きさせるんだなと**司会**「時間なくなつたんで、鈴木さん、なんか締めくくって下さい」
鈴木「えー！（爆笑）、みんなこんな固い話すると思わなかったから、趣味の話と思って」とジャラジャラとコインを取り出す。外国のコインを打ち抜き細工したアクセサリーだ。

鈴木「糸ノコで抜く。これ1個に10時間かかりました。日本のコインは使わない、手が後ろへ回るから、他に皮細工も得意とか**司会**「いやいい締めですわね。やつぱりこういう機会が必要ですね」
井上「なんかこんな深く喋ることないからとでも新鮮でした」とい

わけて紙幅も尽きた。山崎の告白は後日機会をみてお目を汚しませよう。

（文責/山崎）



鈴木さんの作品

【働くよるこび】趣味の世界

素人盆栽喜寿の春

7班 藤樹光雄
初春らしく華のある盆栽を探していたら、ある植木班の班長さんから耳よりの情報を得た。紹介されたのが藤樹さんである。早速電話をすると「今柿の実がなつてますよ！」と声が弾んでくる。やつたアー愛車のチャリントコをガタピシ飛ばしながら、柿？と思った。

盆栽というと大宮の盆栽村ほど豪華ではないにしてもあるイメージがある。五香の一角の藤樹家。母屋に納屋兼車庫、こじんまりとした庭があった。ひと目で穏やかな人柄の藤樹さん。お顔の艶がいい。腰にはきりつと剪定鋏のベルトがきまつている。「これですよ」案内されるまでもなく、真っ赤な実が目飛び込んできた。鉢植えに鈴なりの小さな柿の実が日曜の春光をはね返していた。

「これはみごと！食べられますよ」と素人はすぐそれだ。「いや食べられない。老爺柿（ろうやがき）という中国由来の観賞用ですね」



落ち着いた声が返る。ほかに松さつき、南天など所狭しと作品が並ぶ。さてどうカメラに収めるかと思いつく。家の前、面いっばいに様々な洗濯物が下がっている。これが盆栽の背景になり、どうカメラを向けてもフアインダーの中に奥様の綺麗好きが光っている。よわった！ 藤樹さんも

気にされて重い盆栽を移動させたり、納屋からアクリル板を持ち出してレフ板代わりにと努力するもなかなかうまくいかない。そこで頭を切り替えた。洗濯物の中の盆栽。これはこれで得難い景色ではないか。素人盆栽の面目躍如というところだ。

「家業は代々五香で材木屋でした。20代の頃から趣味で盆栽をね。誰にも教わらなかつた。全部見様見真似、独り工夫の成果だ。これ、こんなちよつちよつ3000円で買った小松が、30年後みごとな枝ぶりに成長、老松の風格で笑っている。本人もにんまり

ちよつと自慢もしてみたい。趣味と言うのはそういうものだ。」

70歳で植木の仕事を辞めた。そしたら2年ほどで体が痛くなってきた。それで体を動かさずとシルバークに入会した。「まだ、6年の新参ですよ」と笑うが、技能の下地はしっかり根を張っている。

狭庭と盆栽と洗濯物……なぜか心豊かな余生の見本を見た思いがした。肩肘張らないこんな生き方、いいなあ……頂いたユズ数個が古自転車の籠にころころ揺られて香りの尾を引いた。

（取材/山崎）

DIYが仕事に生きた！

9班 吉田弘和
職場のあるスタッフさんから、会員さんの中にユニティホームセンターのDIYコンテストで優勝した人がいるという話を聞いて早速取材に出かけた。えっ昔のことですよとむしる驚かれました。吉田さんは現在9班で活躍されている。「でも優勝って凄いやないですか」と言うところ本人の口元がゆるむ。開けば15年以上前に遡るが、ユニティHC主催のコンテストに全国から103人もの応募者があり、そこでトップに選ばれた



という。吉田さんが優勝したその「日曜大工」とはどのような内容なのか、え、これが素人芸？まずはご説明しよう。

築後約35年の自宅のダイニング、リビングの床が、部分的に沈み始めたのがきっかけ。初めは近くの水道工屋さんの知り合いの大家さんに修繕を依頼していたのだが2か月経っても来てくれない、ついに我慢の限界、それなら自分でやろうと思いついたのだという。もとの仕事は音楽制作・出版関係だったが、DIYが趣味で腕に少しは覚えがあったという。

作業にかかる前に、先ずリビングの家具類を何処かへ移動しなければならぬ。そこで、近くにお住まいで倉庫もお持ちの知人宅にしばらくの間置かせてもらうことにした。いよいよ作業に掛かると、絨毯敷きの床を全て剥がして柱（大引き）だけとなり、柱の下は土が見える状態となった。ついでにとキッチン

も取り替えることに決め、シンクやら吊り棚など全てのを壊して撤去した。それからがよいよ大工的な作業の始まりである。コンパネを張り、フロアリングを張り、キッチン、フロアリングを置き、位置決めをしてからキッチンボードを貼り、…諸々の細かな作業を踏んで正味2か月半かけて作業を終えた。この間、殆ど毎日のように早朝ユニディの開店時間に入店し、使用した全ての材料を購入した。こうして審査員も目を眩る出来栄となり、優勝賞金10万円をゲットした。

「賞金は何に？」「新しい大工道具を買いました」あくまでもDIY一筋の人だ。「この道具がシルバードで生きているんですね！」会員になってからこれまで、8畳間の和室をフロアリング張りし、押入れの空間スペースに棚を取り付け、つい最近では麻雀牌のケースも製作した。現在はあるお宅の濡れ縁を製作中。学校の修理も近々始まる。「芸は身を助ける」シルバードの会員さんで皆さんそうなんだ！いろはがるたの一句が楽しく心に浮かんだ。

(取材/井上優)

地域班ダイアリー

●南部市場買物ツアー記

7班 三好 元樹

「準備」それは8月の暑氣払いから始まった。地域活動の活性化を願う瀧崎班長の強い思いの詰まった秋のイベント企画の素案が披露された。すぐにでも実施できる内容だったので、「一気にヒートアップ。案内状が完成し、班長と4人の副班長で各自の受け持ち区域を回り全員に配布した。巡回中、体調を崩し退会を余儀なくされる方や所在不明の方など複数あり、センターに報告



した。他の地区も同様でいつの間にか班内の状況も変化しているのだなと驚いた。

「開催」10月31日天気晴朗、10時に参加16名全員集合。記念撮影後常連さんの案内で場内巡りを開始。昼前、思い思いに買い物を楽しんだ。某女子などリユックと手提げに大量のタケノコ、ミカン、焼き鳥などパンパンに詰め込んで、「私お料理、食べるとの大好き！」これには一同思わず「イイネ!!!」

「親睦会」昼食を摂りながらの親睦会では、しだにお酒モードになり、職場の矛盾や改善点など談論風発、議論異論百出で、4時過ぎようやく一本締めに辿り着いた。

帰りのバスの中は皆さんの生鮮食品等が詰まった買物袋の山。笑顔笑顔の買物談議に花咲いた。数十年前の市場を知る方は店仕舞いが多かったと寂しがり、初めてのの方はスパーや小売店とは違った買物の楽しみを味わったと喜び、また来たといと大きな買物袋を一叩き。まずは大成功と一人評価を下した買物ツアーでした。

センターダイアリー

◆シニア交流センター祭り

11月11日(土)、規模を縮小して約4年ぶりに開催され、広報部会員として参加させて頂きました。

当日は風が吹く寒い日でしたが、大勢の方が参加され用意した普及啓発用のチラシ等たちまち売り切れ状態。

隣のコーナーでは手工芸同好会の大前さん、杉山さん達が大江さんお手製の名札を胸につけ心をこめて制作した成果物を販売されていました。寒かったのと出来映えに惚れ、ロングマフラーを購入しました。おまけに紺色の手編みの手袋迄プレゼントされ、寒かったけど心温まる一日でした。イベントでは、はつらつクラブ芸能部の日本舞踊とコーラス、東進ポップキッズの可愛いダンスの披露があり、盛況裏に幕を閉じました。来年が楽しみです。

広報部会員 山本博之

◆おやこDE広場のボランティア活動

12月14日(木)に会員の山本博之さんと佐藤武雄さんがクリ



スマスサントの格好で登場！参加者は20組の親子。1〜3歳のお子さんと歌、手あそび・ブレゼント配り、写真撮影会を行い、みんなにっこり！楽しいとなりました。

センター30周年 継続特集

『こまつちやうな』 3班 山本博之

1960年代、20代前半のことです。新宿の街を歩いていたら、ジャズ喫茶「新宿ACB」に山本リンダが来演しているとの看板につられ入場しました。舞台前最前列で騒いでいたところ、山本リンダから、舞台上がって一緒に歌おうと誘われました。若気の至り。臆面もなく舞台上に駆け上がり、自己紹介。姓が同じ山本というところで親近感をもたれ、「私は山本あつ子、あつちゃんと呼んで」とのことです。

たわいない会話を交わし、デビュー曲の「こまつちやうな」を一緒にうたいました。若かりし頃の恥ずかしい思い出の一幕でした。

遠い昔の思い出と現在

11班 野中駒男

昭和20年8月15日終戦を迎えて2年ほど過ぎた頃、ベニヤ工場に勤めたときの話です。そのころの娯楽と言えば昼休みに卓球を数人でプレーするくらいでした。

ある日友達から、街のホールで素人のど自慢大会があるから出演してみないかと誘われて二人で申し込みました。歌った曲はさだかでないが、そのころの流行歌といえば岡晴夫の「東京の花売り娘」「憧れのハワイ航路」「啼くな小鳩よ」などよく歌ったのでそのあたりか。二人とも歌って審査を受け、友達は残念ながら落選。私は運よく当選して後日県大会の通知が届いたのです。その時ちょうど私の父親が病気で急死したので、県大会には出場できなかつたのです。もともと私は歌が好きで、数年前は友達とカラオケボックスで歌い始めていました。今でも月に2回ほどは愛好家同士でカ

ラオケを楽しんでいます。

童謡・唱歌「ありがとうの花」との出会い

2班 近藤賢一

最近聴いた歌。わが人生を振り返る機会を与えてくれた歌です。令和5年8月、4年ぶりに開いたマニション管理組合の夏のイベントで、童謡・唱歌「ありがとうの花」を聴く機会がありました。

歌詞で好きな箇所は最初の「ありがとうとって言ったら みんながわらってる」です。歌っていたいたのは、ユーチューバーの「ひまわり」さんです。

この歌を聴くと感謝の「ありがとう」と言いたい方が想い浮かんでくるのです。亡き両親、3人の姉妹、中学時代の恩師、大学の同窓仲間、社会人になり指導していただいた先輩・上司、大病した時の主治医、趣味の絵を描くキツカケを与えてくれた方、与えてくれた方々…に「ありがとう」です。この歌を最初に聞かせて頂いたひまわりさん「ありがとう」です。そして、素直に感謝の「ありがとう」と言える人生を送りたいと思います。「ありがとう」といい言葉です。



大久保 雅史

- ①スーパーマーケットの早朝品出し、時々「単発作業班」の草取り
- ②大阪市
- ③特になし
- ④シルバーに入って5年、もう1年「仕事」頑張る
- ⑤「栄養」「運動」「社会参加」の実践



武 宏明

- ①自転車駐車場誘導
- ②埼玉県羽生市
- ③野球観戦(テレビにて)
- ④健康第一!!
- ⑤規則正しい生活をしている



生江 廣昌

- ①除草他
- ②福島県喜多方市
- ③旅行
- ④特になし
- ⑤やりがいのある仕事につけたこと



高田 すみ江

- ①日本語学校教室の清掃
- ②茨城県
- ③今は多くを持たずグランドゴルフを楽しんでいます
- ④病氣、怪我をせず、人様に迷惑をかけず(いつも同じです)
- ⑤自分に合った仕事を長く続けていられること



吉田 團江

- ①家事援助
- ②石川県中能登町(甘えぶり、いか美味しい)
- ③大正琴演奏、月3~4ヶ所の介護施設をボランティア仲間と演奏訪問しています
- ④もう少し体力をつけて、孫とたくさん遊びたいです
- ⑤自分が人のお役に立てることがわかったこと



西村 恒子

- ①市の教育委員会依頼の学校施設管理業務(松ヶ丘小学校)
- ②東京都
- ③観劇、スポーツ観戦
- ④心身共に健康で、全

てに前向きでいたい。

⑤第2の人生の出発と考えられた事



山崎 和夫

- ①常盤平北口第3駐輪場
- ②東京(神田)
- ③鉄道模型の製作
- ④身体的にも、精神的にも元気なこと
- ⑤体を動かす事。様々な方とのコミュニケーション。報酬。

辰年生まれの会員さん大集合!

★1940年生まれ・1952年生まれ★

- ①今やっているシルバーの仕事
- ②出身地
- ③趣味
- ④新年の抱負
- ⑤シルバーに入ってよかった事



山本 広子

- ①清掃(企業の工場に敷設されている従業員の更衣室)
- ②東京都、でも気持ちはずっと松戸市民
- ③旅行、映画鑑賞
- ④まだ行ったことがない県への旅行
- ⑤「行く所がある、やることがある、会う人がいる!」社会性が保てる。



平野 次雄

- ①清掃業務
- ②千葉県松戸市上矢切
- ③へら削り
- ④健康でがんばる
- ⑤名ヶ谷クリーンセンターで清掃作業にあたり職場の仲間や委託先の皆さんと笑顔で挨拶、会話が私の元気の源となっています



軽海 保

- ①水洗普及促進のための個別訪問等
- ②三重県
- ③囲碁(五段格)
- ④体力が残っているうちに断捨離
- ⑤仕事をする事で日々に変化を感じられること



新橋 正典

- ①みのり台南口第1駐輪場
- ②千葉県松戸市
- ③昭和の世界に浸ること
- ④元気に精一杯生きる
- ⑤いろいろな方々(駐輪場利用者の皆さん)とコミュニケーションがとれて楽しい



大野 隆司

- ①スーパーの品出し
- ②東京都北区東十条
- ③散歩、お酒、カラオケ
- ④元気に活動すること
- ⑤色々な人、仕事に出会えた事



西村 仁至

- ①松ヶ丘小学校施設管理業務(東京都)
- ②ドライブ、野外活動(キャンプなど)、旅行、写真撮影を行う
- ④楽しく元気で はつらつと働きたい!
- ⑤小学校やクリーンセンターなどで思ってもみなかった業務に従事出来た事です。



杉山 泰子

- ①駐輪場申請書の事務(コーティング)
- ②松戸市宮前町(現在は松戸市松戸)
- ③手芸、煎茶道
- ④毎年、家族全員(9名)1/2に集まり、それぞれの息子、娘、孫との交流からスタートします。子供や孫からの情報に驚く事はあります。太極拳などやってみたいです。



小林 征支

- ①駐輪場業務
- ②新潟県
- ③これと言う程の趣味は無し
- ④一年間元気で楽しく
- ⑤大勢の方々に巡りあえた事



大野 晃

- ①スマホ・パソコン教室の講師
- ②秋田県
- ③マジック考案・披露、将棋観戦
- ④体力の回復、孫と遊ぶ時間を増やす
- ⑤社会的、交流が増えた事



水澤 妙子

- ①お掃除
- ②新潟県
- ③特になし
- ④今年もお仕事が出来ること
- ⑤大変よかったです



丸茂 澄子

- ①家事全般
- ②長野県茅野市
- ③旅行、音楽鑑賞、花鑑賞
- ④健康に気をつける(毎日ウォーキング一万歩以上)
- ⑤良い仕事を紹介していただいたこと



保沢 紀

- ①新松戸第8駐輪場
- ②栃木県
- ③読書
- ④他の人達の迷惑にならない様元気に働けること
- ⑤健康で動ける事、密に時々喜んでもらえる事

- ⑥コーティング、家事援助、グループホームのお仕事をさせて戴きました。家庭では出来ない仕事や仲間との交流は日々生きいきとしたものになり、規則正しい生活ができます。感謝です。バザーも良かったです。



小笠原 興志光

- ①自転車駐車場管理業務
- ②秋田県
- ③家庭菜園
- ④健康第一
- ⑤人脈が広がった事



木村 剛

- ①八柱南口駐輪場
- ②鹿児島県
- ③映画鑑賞・宇宙の不思議を再度学ぶこと
- ④今年も再度旧友との交流を含め、人とのつながりを密にしたい
- ⑤目標をもてる事、同世代の現状を分かちあえる事



坂井 賢二

- ①松戸新田駅北口駐輪場管理
- ②愛媛県
- ③ホットヨガ、健康に関する事
- ④生活習慣病の改善
- ⑤様々な人生体験をされた方達との出会い



大内 紀雄

- ①援助券で雑草取り、単発作業で主に雑草取り、21世紀の森の関門作業
- ②宮城県名取市関上
- ③食事、お酒、映画、将棋と麻雀は一人パソコンで
- ④今年もシルバーの仕事をやり健康な体でいたい
- ⑤友達が出来た



福山 貞夫

- ①マンション清掃
- ②東京都品川区大井
- ③ナンプレ太郎、映画鑑賞
- ④体に気を付けて仕事をがんばりたい
- ⑤仕事ができることに感謝出来た事



賛助会員の皆様

謹賀新年

令和5年度賛助会員の皆様

・有限会社 中田化成
・(株)TAKEUCHI

代表 鎌田昌枝

・松川産業株式会社

・傘木 則夫

・伊藤 司郎

・梅本 真

・田中 英信

・矢葺 博明

(令和5年12月31日現在)

事務局からのお知らせ

◆令和5年度正会員会費・賛助

会員会費の納入について

令和5年度会費未納の方は左記へ早急にご納入をお願いします。

配分金支払日

(令和6年)

2月15日(木) 5月22日(水)

3月15日(金) 6月21日(金)

4月22日(月) 7月22日(月)

令和6年4月から、配分金支払日は毎月22日に変更になります。

振込先 千葉銀行小金原支店
普通口座 3029246

公益社団法人松戸市シルバー人材センター理事長 石井久雄

◆就業報告書・援助券のお願い

黒のボールペンでハッキリと。

提出は翌月3日まで。それを過ぎると翌々月の配分金扱いとなりますのでご注意ください。

提出は翌月3日まで。それを過ぎると翌々月の配分金扱いとなりますのでご注意ください。

～事故報告～

◆令和5年度事故件数 20件

傷害事故件数 14件

(就業中13件 就業途上1件)

賠償事故件数 6件

◆令和4年度事故件数 10件

傷害事故件数 5件

(就業中3件 就業途上2件)

賠償事故件数 5件

(令和5年12月末現在)

はつらつ松戸第75号

原稿募集!

(令和6年6月1日発行)

・当人材センター設立30周年記念の『思い出や懐かしの歌・映画・旅行』の特集は当面継続して募集、随時掲載します。

①歌は『曲名』、映画は『題名』

旅行は『場所・地名など』 銘記。

②何年頃の思い出か、エピソードを添えてご投稿ください。

③文字数は400字以内です。

・ほかに地域班報告、仲間との

親睦、見学会、個人の趣味、

川柳・俳句・短歌等諸文芸も

歓迎です。

・締切 令和6年4月10日

松戸税務署からのお知らせ

「確定申告について」

申告書作成会場の開設期間は2月1日(木)から3月15日(金)の平日(2月25日の日曜日は会場)となります。なお、会場では混雑回避のために「入場整理券」を配布致します。なお、入場整理券の配布状況に応じて受付を早く締め切る場合がありますのでご注意ください。

安全標語

いつまでも 働くよろこび 無事故から

公益社団法人 全国シルバー人材センター事業協会

もうすこし その判断が 事故招く

公益社団法人 千葉県シルバー人材センター連合会

気がつかぬ 体の衰え 怪我のもと

公益社団法人 松戸市シルバー人材センター

編集後記

クリスマス夜の夜、「チキン食べた」と知人にメールしたら、「私も食べました」と明るく返信が来た。そのあと自分の俗物性が気になった。なぜクリスマスにチキンなのか。卓上に出たから、皆がやってくるから。その心の慣れが喉に刺さった骨だった。似た様なことが暮れの世情を騒がせた。政治家たちの錬金術だ。派閥パーティー券を売った金を政治資金規正法というザル法さえ通さずにキックバックなる手法で莫大な闇金に変える。その金が人心を惑わし選挙を買収し政界を壟断する。「政治には金がかかる」というもつともらしい言葉は「クリスマスにチキン」とどこか似てないか。政治家たちの勝手放題の蛮行を許してきたのは私自身だ。その先に戦争まで無自覚に許してしまう自分がいるのではないか。悪食も旨いと呑みこむ心の慣れ。この慣れという怪物の正体を見つめる必要がある。キリストの夜はチキン食いつつ自戒した夜でした。

(山崎編)

